

成田法人会報

2022年
(令和4年)

1・2

第385号

<http://www.narita-houjinkai.or.jp/>

謹賀新年

令和3年度 納税表彰式 一般社団法人 成田法人会



令和3年度 納税表彰式 (上部): 成田東武ホテルエアポート

青年部会主催 税知識の普及・啓発に関する街頭キャンペーンの様子 (下部): J R成田駅東口 千葉銀行成田支店前
写真提供: (有)トコロスタジオ 香取信行氏

目次

新年挨拶	2~4
令和4年 新春講演会のお知らせ	5
第2回常任理事会・納税表彰式	6
第1回総務委員会	7
税知識の普及・啓発活動に関する街頭キャンペーン	8
第4回青年部会役員会	9
署長との意見交換会・第3回女性部会役員会	10
全国女性フォーラム新潟大会・全国青年の集い	11
林会長による税務署職員への講話・国税庁からの	12
インボイス制度周知依頼・佐倉市産業大博覧会	

税務簿記講習会・年末調整説明会	13
年末調整オンラインセミナー	
小学校での租税教室	14
地域だより	15~17
新入会員紹介	18、19
令和3年度中学生の「税についての作文」	20
法人会会長賞受賞作品	
事務局からのお知らせ	21
税務署からのお知らせ	22~25
行事予定 研修会・講習会等予定表	26



年頭のご挨拶

一般社団法人 成田法人会会長 林 康 博

新年明けましておめでとうございます。

令和4年の年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

この輝かしい新春を皆様と共に迎えることが出来ますことは、誠に意義深くこのうえもない喜びとするものであります。また、会員の皆様はじめ関係各位には、日頃から法人会の活動に対して深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて昨年は新型コロナウイルス感染症拡大が続き、我が国の国民生活や経済、医療体制に大きな打撃と不安をもたらしました。8月がピークとなった第5波の流行時には、全国で1日当たり2万人を超える新規感染者が出る日が続き、特別措置法に基づく緊急事態宣言が発出されましたが、1年延期されていた東京オリンピック・パラリンピックは無事開催されました。

しかし2月から医療従事者等に先行して開始されたワクチン接種は、年末には1億人以上が接種を終え、10月以降は新規感染者数も急減したことから、緊急事態宣言は解除されました。これを受け、回復のテンポは緩やかであるものの国内の経済・消費活動は徐々に再開され、成田空港をはじめとする世界との入出国も緩和されました。一方世界では、依然として新型コロナウイルス感染症の拡大が猛威を振るっており、予断を許さない状況が続いています。

こうしたなか、私ども成田法人会では、感染予防対策を図った上で、総会、理事会、委員会、部会役員会等を開催いたしました。また税に関する研修会については、1回の定員を10名までとし、マスクの着用や手の消毒、換気、座席の間隔確保、終了後の消毒作業など、参加者の皆様に安心して受講して頂けるよう対応いたしました。そして「三密」を避けた感染リスクの低い事業として、オンラインセミナーや税に関するパンフレットを配布したJR成田駅前での街頭キャンペーンなどの事業にも取り組みました。

本年を展望しますと、世界中に拡大した新型コロナウイルス感染症の収束がなかなか見通せないなか、米中の経済問題の長期化懸念や、中東情勢の不安定化、朝鮮半島や台湾を巡る東アジア情勢など、わが国を取り巻く国際情勢は不確実性を増していくものと思われれます。一方、国内に目を向けますと、コロナ禍による企業業績や個人消費、雇用情勢の低迷から脱却するには、なお相当な時間や財政出動による経済対策を要するものと思われれます。

会員企業の皆様におかれましても日々大変なご苦労されていることと拝察致しますが、何卒この苦難を乗り越えて頂き再び前進されますよう心より願っております。

成田法人会では、今後も成田税務署、税理士会など関係機関・団体の協力を頂きながら、税知識に関する研修会や広報、税制改正要望等を重視して活動してまいります。また会員の皆様の声を幅広く受け止めながら着実に前進してまいりたいと思いますので、引き続きお力添え賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、会員企業の益々のご隆盛と会員皆様のご活躍、ご健勝を祈念いたしまして年頭の挨拶といたします。



新年のごあいさつ

成田税務署長 渡 邊 利 久

新年明けましておめでとうございます。

令和4年の年頭に当たりまして、一般社団法人成田法人会の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、林会長をはじめ役員並びに会員の皆様には、税務行政に対しまして格別のご理解とご協力を賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスについて、9月30日に緊急事態宣言等が解除されたものの、先が見通せない大変難しい状況でありましたが、東京オリンピック・パラリンピックにおいても成田市ゆかりの選手が金メダルを獲得するなど、我々に喜びと元気を与えてくれる話題も多くあった一年でもありました。

成田法人会におかれましては、徹底した感染予防対策を図ったうえで、「新しい生活様式」の定着に配意し、税務簿記講習会を始めとする各種研修会を積極的に開催していただきました。更に「税を考える週間」における街頭キャンペーンや佐倉産業大博覧会への出展において、スマホ申告等のPR活動、青年部・女性部会による租税教室など多くの事業に積極的に取り組んでいただき、コロナ禍においても税知識の普及に多大な協力をしていただきました。

役員並びに会員の皆様の法人会活動に対する熱意とご尽力に対しまして、深く敬意を表しますとともに、今後も魅力ある活動を継続されますよう、ご期待申し上げます。

さて、令和5年10月から導入される消費税の「適格請求書等保存方式」（いわゆるインボイス制度）につきまして、昨年10月から、適格請求書発行事業者の登録申請の受付が開始されました。

税務署としましては、事業者の皆様には制度の内容を十分ご理解いただき、準備を円滑に進めていただけるよう周知・広報に努めてまいりますので、忌憚のないご意見やご要望をお寄せいただくなど、今後とも一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

まもなく、令和3年分の所得税等の確定申告時期を迎えます。2月1日(火)からイオンモール成田2階「イオンホール」に確定申告書作成会場を開設しますが、本年も感染症対策として、会場内の滞在人数を常時一定の範囲内となるよう「入場整理券方式」により実施します。自宅等からのe-Taxによる申告書の早期提出やキャッシュレス納付の利用などへのご協力を重ねてお願い申し上げます。

結びに当たりまして、この新しい年が、一般社団法人成田法人会の更なる飛躍と、会員の皆様並びにご家族の皆様がご多幸の一年となるよう祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



年頭のごあいさつ

千葉県税理士会成田支部長 山本 秀和

新しい年を迎え、心よりお喜び申し上げます。

令和4年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

林会長をはじめ、一般社団法人成田法人会の皆様には、千葉県税理士会成田支部の活動に対しまして、平素より深いご理解とご協力を賜っていることに厚く御礼申し上げます。地域経済の中で、貴会の貢献度は非常に大きく、事業者の皆様の発展、そして納税義務の向上等、多岐にわたりご尽力されておりますことに心より敬意を表します。

一昨年来、我々を取り巻く環境は従来とは激変しております。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が、人々の生活・経済に強く影響を及ぼし、その脅威に対して生活様式を変えることを余儀なくされております。他人とのコミュニケーションには多少の警戒心や緊張感をもちつつ、自身のエチケットにも必要以上に気を使わなくてはなりません。

経営者であります皆様への、この影響は計り知れません。取引先との商売上の体制・様式の変更、テレワーク等の従業員の就業環境整備、政府による緊急事態宣言への対応等、企業としての社会的責任を果たすことがより強く要求され、企業経営者にとっては、これが精神的にも物理的にも大きな負担になると思われれます。とりわけ正しい情報に基づいた、よりの確な行動が求められる時代となっております。

そのような中で、我々税理士は、事業者の皆様に寄り添いながら、一番身近な相談相手として、社会に貢献していくことが求められると考えます。税の専門家として、納税義務の適正な実現を図ることに努めることはもとより、皆様とのコミュニケーションを通じて、必要に応じたアドバイスができるよう日々研鑽を積んでいく必要を強く感じます。

税制についてみると、令和5年10月1日から導入される、消費税のいわゆる「インボイス制度」に向け適格請求書発行事業者登録が昨年10月より開始されております。制度上、インボイスを発行できるのは、この登録を受けた事業者に限られるため、制度の趣旨をよく理解したうえで、速やかに対応していく必要があります。この手続きについては、税理士を通じて行うことが可能ですので、ご不明な点についてもお尋ね頂けたら幸いです。

新型コロナのニュースがクローズアップされがちですが、自国で開催されたオリンピックでは日本選手団が多数のメダルを獲得し、真鍋淑郎氏がノーベル賞を受賞、大リーグでは二刀流の大谷選手が大活躍、また最年少で将棋のタイトルを次々獲得する藤井棋士のニュース等、昨年も明るい話題は多数ありました。本年も、千葉県税理士会成田支部は、貴会との協調関係を更に深めていけたら幸いです。コロナの難局の早期収束を期待しつつ、貴会の皆様と一緒に乗り切って参る所存です。

結びにあたり、一般社団法人成田法人会の会員の皆様及びご家族様、そして関係者の皆様のご健勝を心より祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和4年「新春講演会」のお知らせ

1. 日時 令和4年1月26日(水) 13:30~受付開始
2. 会場 成田ビューホテル 〒286-0127 成田市小菅700 電話0476-32-1111
3. 次第

(1) 新年挨拶 (14:00~14:30)

成田法人会 会長 林 康博
成田税務署 署長 渡邊 利久様
千葉県佐倉県税事務所 所長 鵜澤 和裕様

(2) 新春講演会

第1部 (14:30~15:30)

講師：田村 秀氏 (長野県立大学 教授)

演題：「北総地域の課題と展望」～データ・善光寺・食文化の視点から～

講師略歴

1962年10月生まれ、北海道苫小牧市出身。

1986年東京大学工学部都市工学科卒、自治省（現在の総務省）入省。

香川県企画調整課長、市町村アカデミー教授、三重県財政課長、自治省国際室課長補佐、東京大学客員助教授、イギリスバーミンガム大学客員研究員、自治大学校教授などを経て、2001年から新潟大学。

2007年から法学部教授、法学部副学部長、学部長、学長特命補佐などを経て、2018年から長野県立大学教授。

この間、国、自治体審議会委員を多数務める。



第2部 (15:40~16:40)

講師：上 昌広氏 (特定非営利活動法人医療ガバナンス研究所 理事長)

演題：「新型コロナの正体」～如何に付き合うか～

講師略歴

1968年生まれ、兵庫県出身。

1993年東京大学医学部卒。1999年同大学院修了。医学博士。

虎の門病院、国立がんセンターにて造血器悪性腫瘍の診療・研究に従事。

2005年より東大医科研探索医療ヒューマンネットワークシステム（後に先端医療社会コミュニケーションシステム）を主宰し医療ガバナンスを研究。

2016年3月退職。4月より現職。

星槎大学共生科学部客員教授、帝京大学医療情報システム研究センター客員教授、現場からの医療改革推進協議会事務局長を務める。



(3) 閉会 (16:40)

令和3年度 第2回常任理事会



林 会 長



渡邊税務署長

12月3日(金)第2回常任理事会が、成田東武ホテルエアポートにおいて、林会長以下22名の常任理事が出席して開催された。

また、成田税務署から渡邊署長、外川副署長、江崎統括官、野田上席の参加を頂いた。主要な議題は以下のとおりであった。

第1議題 事業報告

4月から11月までの法人会活動について事業報告がなされた。納税意識の高揚、税知識の普及に向けた研修会・広報活動・地域社会貢献等の公益事業は、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出を受け、予定していた事業の一部に影響が出たが、感染予防対策を講ずるなか、役員はじめ会員、税務署、税理士会等関係機関のご協力により、総会や理事会、委員会、研修会、部会行事等の一部を開催できたことが報告された。

また「税を考える週間」の11月11日(木)には、青年部会が中心となった街頭キャンペーンがJR成田駅ロータリーの千葉銀行成田支店前で開催され、税に関するパンフレット等を市民500人に配布したことが報告された。

第2議題 会員増強活動について

10月14日の第1回常任理事会および組織委員会で、会全体の会員増強目標200件を達成するために支部役員会を開催し、支部の活動計画や金融機関との連携を深めることが確認されたが、11月末の進捗状況について報告がなされ、目標達成に向け意見交換がなされた。

実 績 110社 (達成率55.0%)
達成支部 2支部 (成田東、空港)

第3議題 新春講演会について

令和4年1月26日(水)開催の新春講演会について概要が説明され、感染予防対策をしっかりと実施することとした。

新春講演会の講師・演題は以下のとおり。

第1部

講師：田村 秀氏 (長野県立大学 教授)

演題：「北総地域の課題と展望」

～データ・善光寺・食文化の視点から～

第2部

講師：上 昌広氏 (特定非営利活動法人医療ガバナンス研究所 理事長)

演題：「新型コロナの正体」

～如何に付き合うか～

令和3年度 納税表彰式

新型コロナウイルス感染症拡大の懸念が続いていることから、税務署及び関係6団体での納税表彰式が中止となったため、常任理事会に続いて法人会会員の納税表彰式が行われた。

令和3年度 納税表彰受彰者

【東京国税局長表彰】

江口 寛通氏 (副会長、白井支部)

【東京国税局長感謝状】

里崎 智也氏 (野球解説者)

【成田税務署長表彰】

野水 俊夫氏 (理事、白井支部)

藤 秀明氏 (常任理事、志津北支部)

小幡 晋彦氏 (常任理事、空港支部)

【成田税務署長感謝状】

長谷川智之氏 (青年部会長、根郷支部)

諸岡 陽子氏 (女性部会長、成田中央支部)

田中 時之氏 (常任理事、志津南支部)

《成田法人会会長表彰》

福本 祥三氏 (支部幹事、白井支部)

大畑 雅美氏 (女性部会副会長、八街支部)

颯佐 直也氏 (理事、印西支部)



納税表彰の受彰者



納税表彰式の様子



江口寛通氏の東京国税局長表彰受彰
(当日は江口総氏が代理出席)



里崎智也氏の東京国税局長感謝状受彰

講演会

納税表彰式に続き、プロ野球解説者の里崎智也氏より「2021年のプロ野球を振り返って」と題して講演が行われた。

里崎氏は、2020年11月に青年部会が中心となって開催した「街頭キャンペーン」で「税の広報大使」となって参加頂いたが、今回、その功績が認められ「東京国税局長感謝状」の受彰

となったことから、特別に法人会の納税表彰式に出席頂き、講演をしてもらう事となった。

コロナ渦の中での少観客での試合開催、選手の感染、オリンピック期間中の中断、そして誰もが予想しなかった前年最下位のオリックスとヤクルトのリーグ優勝、そして千葉ロッテマリーンズの51年ぶりのマジック点灯等、新人選手の活躍も目立ったシーズンについて総括してお話を頂いた。



里崎智也様による講演会の様子

令和3年度 第1回総務委員会

12月10日(金)第1回総務委員会が、ひかたや第二支店において、林会長、副会長6名の委員が出席して開催された。

総務委員会では、令和3年度の事業の実施状況について事務局より説明があり、それに基づく令和3年度会計の収支概要報告がなされ審議が行われた。

また公益目的支出計画の実施状況についても報告がなされ、1年延伸となっている完了事業年度(令和4年3月31日)には、公益目的財産残高が0円となり、令和3年度決算確定後に完了報告提出の見込みであることが報告された。



総務委員会の様子

税知識の普及・啓発活動に関する街頭キャンペーンについて



渡邊税務署長と法人会の参加者

青年部会が中心となって、「税を考える週間（11月11日～17日）」における税知識の普及・啓発活動として、11月11日（木）16時よりJR成田駅東口の（株）千葉銀行成田支店前で、市民に対し税に関するパンフレット等500部を配布する街頭キャンペーンを行った。

法人会の参加者は、藤崎副会長、村岡成田中央支部長、荒木成田西支部長、香取広報委員、そして青年部会より長谷川青年部会長、関副部会長、山下副部会長、青柳幹事、富永会員、磯井会員、小椋会員、事務局5名の計16名であった。

また成田税務署より渡邊署長ほか幹部の方々、成田市より小泉市長ほか幹部の方々、そして成田青色申告会、成田間税会、成田酒類業懇話会、成田税務署管内納税貯蓄組合連合会、千葉県税理士会成田支部の方々が参加された。

本年は、国税庁e-Taxキャラクター「イータ君」、成田市観光キャラクター「うなりくん」、マイナンバー公式PRキャラクター「マイナちゃん」をゲストに迎え街頭キャンペーンを行った。

なお、「イータ君」には青年部会員の奥様が、「うなりくん」には成田市役所職員が、そして「マイナちゃん」には税務署職員が、それぞれ着ぐるみに入っていたいただき、大いにキャンペーンを盛り上げていただいた。

新型コロナウイルス感染症への予防対策として、マスク、白手袋を全員が

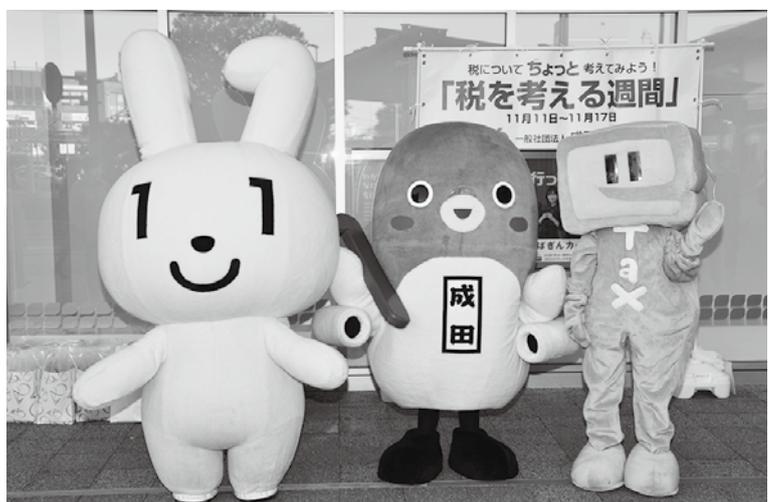
身に付け、市民の方に安心してパンフレット等の配布物を受け取って頂けるよう取り組んだ。

配布の際には、「税を考える週間です」、「パソコン・スマホで確定申告をお願いします。」と声をかけ、確定申告会場で「密」となる人混みの状態を避けるため、税務署のパンフレットを見せながらe-Taxの利用を呼び掛けた。

また、青年部会作成の「パソコン・スマホで確定申告」のメッセージが印刷されたタオルとマスクと一緒に配布することで、e-Taxの利用を一層、印象付けるよう工夫した。



ゲストの3体の着ぐるみ「イータ君」「うなりくん」「マイナちゃん」の人気は絶大で、幼児から高校生、大人まで、多くの人たちが自分たちのスマホと一緒に記念撮影を行っていた。



この街頭キャンペーンには、地元の成田ケーブルが取材に訪れ、法人会の活動を積極的にPRすることができた。

【実施概要】

日時 令和3年11月11日(木) 16時～
場所 JR成田駅東口
(千葉銀行成田支店前)
主催 一般社団法人成田法人会
青年部会
合同参加 成田青色申告会、成田間税会、
成田酒類業懇話会、成田税務署
管内納税貯蓄組合連合会、千葉
県税理士会成田支部
後援 成田税務署
協力 成田市
配布物 税に関するパンフレット等



渡邊利久成田税務署長



小泉一成成田市長

令和3年度 第4回 青年部会役員会

12月16日(木)第4回青年部会役員会が、旬彩じらいやにおいて、長谷川部会長以下6名の役員が出席して開催された。

役員会では、主に以下の議題について説明・審議が行われた。

- 第1議題 令和3年度事業の総括について
- 第2議題 令和4年度計画事業について
- 第3議題 会員増強について

令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響から多くの計画事業が中止となったが、令和4年度については、十分な感染対策を前提に積極的に部会活動を展開していくこととした。特に、令和5年10月から導入となる消費税の適格請求書等保存方式(いわゆるインボイス制度)についての理解は、企業経営者として必須のものであり、勉強会を企画して多くの会員の受講を目指していくこととした。

また、青年部会員は50歳達年齢年度

で部会の卒業を迎えるが、令和4年度では10名の部会員が卒業することとなっており、会員増強は部会の喫緊の課題となっている。このため、それぞれが所属している業界団体等で積極的に声掛けを行う等、現在の部会員数50名を出来るだけ下回らないよう会員増強活動を展開することとした。



役員会の様子

成田税務署長との意見交換会

11月19日(金)成田法人会館において、青年部会・女性部会合同による「成田税務署長との意見交換会」が開催された。

成田税務署からは、渡邊利久税務署長、外川幸裕副署長、江崎学法一統括官、野田康弘審理担当上席の4名が出席された。青年部会・女性部会からは7名が参加した。

最初に、渡邊署長から「財政の現状と税務行政の課題」と題して講話が行われ、2021年度の歳出・歳入を基にした財政の現状や、高齢化による社会保障給付の増加や給付と負担のアンバランス拡大の懸念といった財政の将来について説明がなされた。また国税当局の役割や税務行政の将来像と理念の明確化、納税者サービスの向上、適正・公平な税務行政の推進など、資料に基づき多岐にわたって熱心なお話を頂いた。講話後、意見交換会が行われ、令和5年10月より導入されるインボイス制度等について質問があり、税務署から丁寧な回答と説明が行われた。



渡邊署長の講話の様子



長谷川青年部会長



諸岡女性部会長



意見交換会の様子

第3回 女性部会役員会

12月17日(金)金田屋(栄町)において、第3回女性部会役員会が開催され、諸岡陽子部会長のほか役員13名が参加した。

諸岡部会長の挨拶の後、大畑雅美副部会長の法人会長表彰受彰式が行われた。

議事では、最初に事務局より「租税教室」および「税に関する絵はがきコンクール」の実施状況について報告があり、1月21日(金)に審査会を実施することが確認された。

続いて令和3年度の事業成果の概要について、女性部会総会や創立45周年記念誌の発行、同記念品の配布、役員会の実施状況、女性部会オリジナルエコバッグの作製・配布等に関して報告がなされた。令和4年度事業の大綱(案)については、新型コロナウイルス感染症の鎮静化動向を注視するなか、税知識の普及・啓発活動や地域社会貢献活動、女性部会会員相互の親睦の強化等について各種事業を実施していく事が確認された。



諸岡部会長の挨拶



大畑雅美副部会長の法人会長表彰受彰



役員会の様子

全国女性フォーラム新潟大会

11月16日(火)全国女性フォーラム新潟大会が、新潟市の「朱鷺メッセ」で開催され、成田法人会女性部会から、諸岡陽子部会長、三橋由美副部会長、片岡愛子副部会長の3名が1泊2日で参加した。

全国女性フォーラムは今回が第15回目で、昨年度は愛媛大会が予定されていたがコロナ渦のためやむなく中止となった。

新潟県連では万全の感染予防対策を図るなか、全国の法人会女性部会から多くの参加者が集い、大会は無事開催された。

第1部の記念講演は、前文化庁長官の宮田亮平氏から「ときめとのとき」と題して講演が行われた。第2部の式典、そして第3部の懇親会へと大会は進行され、2年ぶりの女性フォーラムは華やかな中にも活気が溢れていた。

また会場内には「税に関する絵はがきコンクール」の入賞作品が展示され、昨年度中止となった分の作品と合わせて来場者の目を楽しませた。

来年度は静岡での開催が予定されており、全国からの積極的な参加が期待されている。



参加した3名の役員



会場内にて



大会の様子



絵はがきコンクール入賞作品の展示

全国青年の集い「佐賀大会」

令和3年11月25日(木)～26日(金)、第35回法人会全国青年の集い「佐賀大会」が、『つなぐ 維新のちから 輝ける大切な未来へ』をスローガンに開催された。

本大会では、新型コロナウイルス感染症対策として、現地参加者を1単位会1名に限定したため、成田法人会からは長谷川部会長1名のみの参加となった。大会初日は青連協連絡協議会が行われ、その後に開催された懇親会においては、全国の部会長と親交を深め、有意義な情報交換を行なうことができた。

二日目は、租税教育活動プレゼンテーション、健康経営大賞ファイナリスト事例紹介等が行われ、今後の部会活動の活性化のための参考となった。

その後、女性誌のモデル、情報番組のコメンテーターを務める優木まおみ氏による「体と心・仕事と家庭 バランスよく過ごすために」と題した講演が行われ、ワークライフバランスの重要性を再認識することとなり、今後の健康経営の推進に大いに役立つ内容であった。



長谷川青年部会長

林会長による税務署職員への講話

11月17日(水)、主に1～3年目の職員等を対象とした研修会が税務署会議室で開催され、林会長が講師として参加した。

林会長から成田市の現状と課題について、成田市の資料に基づき、市の歴史や人口動態、産業構造、就業者数等から成田空港や新勝寺を有する成田市のポテンシャルの高さが説明された。

次に市民へのアンケート結果から見られる「最も伸ばしたい成田氏の特徴」や「市民が振興を期待する産業」について解説し、成田空港の新滑走路建設や圏央道の全面開通、1月オープン予定の成田空港に隣接する成田市公設地方卸売市場などの動向から、成田市の将来性について説明がなされた。



林会長の講演の様子



税務署職員との質疑応答

国税庁からのインボイス制度周知依頼について

インボイス制度については、令和3年10月1日より適格請求書発行事業者の登録申請受付が開始され、国税庁では、同制度を事業者幅広く周知するため、各種広報活動を実施している。国税庁ホームページでは「インボイス制度特設サイト」が更新され、新たに以下の情報が公表されている。

- ・Web-Tax-TV「適格請求書発行事業者の登録申請はe-Taxで！」
- ・講評サイトの案内

そして、インボイス制度への対応が必要となる事業者の準備が円滑に進むよう成田法人会の会報誌等への掲載協力があり、11月17日依頼文書が渡邊成田税務署長より林会長に渡された。



渡邊署長から林会長へ依頼文書の授与

成田法人会では、令和3年3・4月号の会報誌より同制度の記事を掲載しており、9・10月号では同制度の資料を同封して、全会員に10月1日からの適格請求書発行事業者の登録申請受付開始のお知らせ、各種研修会での同制度説明会の実施など広報活動に注力しており、引き続き周知を図っていくこととした。

佐倉産業大博覧会への参加

11月13日(土)～14日(日)佐倉産業大博覧会が佐倉草ぶえの丘で開催され、成田税務署および友誼6団体が協力して出展し、税に関するパンフレットを来場者に配布し広報活動を行った。

成田法人会からは林会長および事務局2名が13日(土)に参加した。



参加した成田税務署及び友誼6団体

税務簿記講習会

令和3年度の税務簿記講習会が、9月7日から11月7日にわたり成田法人会館で開催された。

この講習会は、基礎的な日常業務から決算申告書作成業務までできることを目標に全10回で構成されており、斎藤忠弘税理士が講師となり、6名が受講した。斎藤税理士はテキストとは別に毎回独自のレジュメを作成し、受講者からは「わかりやすい説明で理解が進み仕事に活かすことができる」等好評だった。

【受講者アンケートより】

- ・わかりやすい説明で仕事に活用できる知識が身に付きました。
- ・不明点等に丁寧に説明いただきとても有益でした。
- ・普段行っている業務について、その意義や目的を理解することができた。



講師の斎藤税理士と受講者

年末調整説明会

令和3年10月25日(月)、11月4日(木)・5日(金)に成田法人会館において、「年末調整説明会」が開催され、合計43名の参加があった。

国税庁の年末調整についてのDVDを視聴後、成田税務署の高野源泉審理担当上席より年末調整の事務についてわかりやすく説明がなされ、また業務に役立つよう、使用する各種帳票が必要数配布されたこともあり、好評であった。



受講の様子

年末調整オンラインセミナー

令和3年11月24日(水)、主に源泉部会員を対象にオンラインによる「2021年 年末調整実践セミナー」(委託先:(株)ブレーン)を実施し9社が参加した。

講師は税理士の中島加誉子氏で、年末調整の流れとスケジュール管理、各種書類の記載方法とチェックポイント等実務に役立つ内容について、わかりやすくライブ配信された。



受講の様子 (成田空港警備(株)様)



受講の様子 (㈱ナリコー様)